

令和 7 年度
一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会
定時社員総会 議案書

日時 2025 年 5 月 25 日（日）10:00-11:00

場所 大宮ソニックシティ会議室 904



一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会

目次

第 1 号議案	令和 6 年度事業報告	・ ・ ・ ・ ・	1
第 2 号議案	令和 6 年度決算報告、監事意見書	・ ・ ・ ・	6
第 3 号議案	役員選任について	・ ・ ・ ・ ・	13
第 4 号議案	定款の改訂について	・ ・ ・ ・ ・	14
報告事項 1	令和 7 年度事業計画	・ ・ ・ ・ ・	15
報告事項 2	令和 7 年度予算	・ ・ ・ ・ ・	18

第1号議案 令和6年度活動報告（令和6年4月1日～令和7年3月31日）

1. 全体の活動

- ・ 令和6年5月28日（火）に、令和6年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会を開催した。
- ・ 令和6年6月9日（日）に、第20回埼玉県言語聴覚士会学術集会を東大宮コミュニティセンターにて開催した。
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会との連携を図り、各種問い合わせや調査の協力を行った。
- ・ 令和6年7月6日（土）令和6年度春期都道府県士会会長会議、令和6年11月16日（土）令和6年度秋期都道府県士会会長会議に出席した。
- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会、一般社団法人埼玉県作業療法士会と連携を図り、研修会等を共催した。
- ・ 令和6年6月24日（月）、令和6年10月21日（月）、令和7年2月17日（月）の3回、埼玉県リハビリ三団体連絡会議に参加した。
- ・ 埼玉県、さいたま市および川口市、川越市、越谷市の委託を受け、埼玉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業を実施した。
- ・ 当会ホームページやSNS（X：旧 Twitter）を使って、言語聴覚士の日や研修会等の情報発信を行った。
- ・ 会員の利便性向上のために、会費集金・会員情報管理システムの運用を行った。
- ・ その他、関連団体等と連携や協力を図った。

2. 事務局

- ・ 新入会員の受付・登録、会員情報の変更、退会手続など会員名簿の管理を行った。
- ・ 各種調整・事務手続き、法務手続きを行った。
- ・ 会員のメーリングリストの管理を広報・情報部と共に行った。
- ・ 会費の徴収・管理（入会金と年会費、活動費）を行った。
- ・ 令和6年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会を、大宮ソニックシティビル 603 会議室にて開催した。
- ・ 令和5年度決算書を作成し、令和6年度予算案を立案した。
- ・ 理事会をオンラインにて（Zoom）12回開催した。
- ・ 令和6年6月24日（月）に、令和6年度第1回埼玉県リハビリ三団体連絡会議を運営した。
- ・ 会費集金・会員情報管理システム導入の準備を行った。
- ・ ニュースレター42号・43号を発刊し、発送を行った。
- ・ オンラインミーティングシステム（Zoom）の管理を行った。
- ・ 各種団体との連絡調整を行った。

3. 渉外部

- ・ 関係諸機関、諸団体への渉外活動を行った。
- ・ 賛助会員からの情報を会報、ホームページに掲載した。

4. 広報・情報部

- ・ ニュースレター42号、43号を発行した。
- ・ ホームページの更新を随時行った。
- ・ ホームページの管理を行った。
- ・ メーリングリストを運用し、メーリングリスト登録会員に対して当会主催・共催の研修会情報等を随時配信した。
- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と合同で、埼玉県リハビリテーション・マップの管理・運営を行った。

5. 企画部

1 言語聴覚の日

- ・ 9月1日の言語聴覚の日に合わせて、県士会のリーフレットを電子カタログで作成し、ホームページ、X、Facebookに掲載した。

2 失語症者向け意思疎通支援事業

- 埼玉県、さいたま市、川口市、川越市、越谷市より委託を受け、埼玉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修会を実施した。
開催期間：令和6年9月8日（日）～令和7年2月23日（日）
修了者：10名

3 彩の国リハビリテーションフェスタ 2025

- 公益社団法人埼玉県理学療法士会、一般社団法人埼玉県作業療法士会と共催で開催した。
開催日：令和7年2月2日（日）10時～15時30分
場 所：川口市民ホール（フレンドピア）川口キューポ・ラ

6. 学術研修部

1 高次脳・運動系

- 一般社団法人日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム「症例検討会」を年2回オンライン（Zoom）にて開催した。
開催日：令和6年7月19日（水）、令和7年2月13日（火）
参加者：4名（それぞれに症例検討証明書を発行）

2 聴覚系

- 一般社団法人東京都言語聴覚士会と共催で、研修会を2回開催した。
第1回「今さら聞けない補聴器フィッティングの基礎」
開催日：令和6年9月8日（日）
場 所：大宮ソニックシティ 902 会議室
内 容：講義（同時にオンライン配信）と補聴器フィッティングの実技実習を実施。
講 師：坂本圭氏、野田幸義氏、岡野由実氏
参加者：実習12名、オンライン（Zoomにて）のみ12名、合計24名
第2回「聴覚障害と発達障害」
開催日：令和7年3月9日（日）オンライン（Zoomにて）
講 師：大鹿綾氏（東京学芸大学 総合教育科学系 特別支援科学講座）
参加者：56名

3 生涯学習

- 一般社団法人日本言語聴覚士協会生涯学習基礎講座3回をオンライン（Zoomにて）開催した。
1回目：令和6年9月3日（火） 参加者 講座1：12名、講座6：14名
2回目：令和6年9月19日（木） 参加者 講座2：9名、講座5：13名
3回目：令和7年1月28日（火） 参加者 講座3：11名、講座4：12名

7. 地域リハ部

1 埼玉県リハビリ三団体主催訪問リハビリテーション実務者研修会

- 埼玉県リハビリ三団体共催（公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会、一般社団法人埼玉県言語聴覚士会）訪問リハビリテーション実務者研修会の2コースを開催した。

【Basic コース】

開催日：令和6年11月24日（日）
場 所：さいたま市プラザウエスト
内 容：講義①「訪問リハビリテーションの制度と現状」
講義②「虐待防止措置について」
シンポジウム「訪問リハビリテーションの実践報告」
実技「BLS：1次救命処置」
参加者：16名（PT：11名、OT：5名、ST：0名）

【Advance コース】オンライン（Zoomにて）

開催日：令和7年2月22日（日）

内 容：講義「がんのリハビリテーション～在宅における支援の実際と介入ポイント～
グループディスカッション

参加者：13名（PT：8名、OT：5名、ST：0名）

2 老健部

- ・「介護保険領域で働く ST の集い」をオンライン（Zoom にて）開催した。

開催日：令和7年1月7日（火）

内 容：施設紹介と座談会

施設紹介：介護老人保健施設日高の里 平井智子 氏
羽生総合病院 澤田千尋 氏

参加者：8名

8. 地域包括ケア推進部

- ・ 地域包括ケアシステムに関わる研修会を、埼玉県・公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会・一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会とオンライン（Zoom）にて共催し、当会からも講師を派遣した。

【介護予防 基本コース（年2回）】

第1回：令和6年6月22日（土） 参加者 68名（PT45名、OT20名、ST3名）

第2回：令和6年10月26日（土） 参加者 21名（PT17名、OT4名、ST0名）

【地域ケア会議 基本コース（年2回）】

第1回：令和6年7月20日（土） 参加者 43名（PT22名、OT17名、ST4名）

第2回：令和6年11月30日（土） 参加者 27名（PT21名、OT3名、ST3名）

- ・ 部会を3回オンライン（Zoom にて）開催し、情報交換を行った。
 - 第1回：令和6年5月2日（木）
 - 第2回：令和6年9月3日（火）
 - 第3回：令和7年3月25日（火）
- ・ 令和7年2月20日、埼玉県医師会主催埼玉県地域包括ケア推進協議会議に参加し、多団体との交流、情報共有を行った。

9. 小児部

- ・ 研修会を1回開催した。
 - 「小児に携わる ST が必要な聴覚障害の知識と聴覚スクリーニングの方法」
 - 開催日：令和6年8月18日（日）
 - 場 所：ウエスタ川越
 - 講 師：吉浦詠子 氏
 - 参加者：18名
- ・ 吃音座談会を3回オンライン（Zoom にて）開催した。
 - 第1回：令和6年8月9日（金）
 - 第2回：11月15日（金）
 - 第3回：令和7年3月7日（金）
- ・ 小児に携わる会員用のメーリングリストを運営し情報交換、研修会の再告知などを行った。
- ・ 学校 ST オンライン座談会」を2回オンライン（Zoom にて）開催した。
 - 第1回：令和6年7月28日（日）
 - 第2回：令和7年2月26日（日）
- ・ 特別支援学校教育関連の問い合わせに対応した。
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会学校教育連携担当者連絡協議会が令和6年11月30日（土）オンライン（Zoom にて）開催され、出席した。
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会障害福祉（福祉事業所・小児医療療育施設）担当者連絡協議会令和7年1月25日（土）オンライン（Zoom）にて開催され、出席した。
- ・ 母子保健事業に関わる ST の集いをオンライン（Zoom にて）2回開催した。
 - 第1回：令和6年9月16日（月）
 - 第2回：令和7年2月9日（日）

10. 災害対策部

- ・ 埼玉県リハビリ三団体災害対策委員会の会議に 10 回参加した。
- ・ 埼玉県リハビリ三団体災害リハビリテーション研修会を開催した。
【Basic コース（年 2 回）】オンライン（Zoom にて）
第 18 回：令和 6 年 7 月 20 日（土） 参加者 9 名（PT3 名、OT4 名、ST2 名）
第 19 回：令和 6 年 11 月 23 日（土） 参加者 26 名（PT14 名、OT11 名、ST1 名）
【Advance コース（年 1 回）】
第 9 回：令和 7 年 2 月 24 日（月）
場 所：埼玉県建産連研修センター
参加者：参加者 26 名（PT19 名、OT6 名、ST0 名、埼玉県地域包括ケア課職員 1 名）
- ・ Advance コース修了者向けフォローアップとして、「災害リハ通信」を作成し、Vol.4 を令和 6 年 8 月 27 日に、Vol.5 を令和 7 年 3 月 15 日に発信した。
- ・ 日本言語聴覚士協会と連携し、JIMTEF 災害医療研修(ベーシック・アドバンス・スキルアップコース)の案内を行った。
- ・ 関係他団体との連携を行った。
 - ① 埼玉県リハビリテーション三団体連絡会議に 3 回参加した。
 - ② 令和 6 年 11 月 22 日(金) 埼玉県と「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定」を締結した。
 - ③ ②に関して、埼玉県担当者等と令和 7 年 1 月 21 日(火)に会議を実施した。

11. 臨床実習指導者養成部

- ・ 部会ミーティングをオンラインで 2 回開催し、令和 7 年度臨床実習指導者講習会開催に向け、具体的な内容（主催、開催形式、開催日と主幹、受講者数、参加費、申込方法と広報、参加者の個人情報扱い、講師謝礼や日当、令和 7 年度予算案等）を検討した。
- ・ 令和 7 年度臨床実習指導者講習会の申し込みサイト（Peatix）、各施設に配布する「お知らせ」文書を作成した。
- ・ 第 11 回理事会に、部会員かつ埼玉県内養成校教員の下嶋氏（国立障害者リハビリテーションセンター学院）と矢澤氏（埼玉福祉保育医療製菓調理専門学校）が参加した。臨床実習指導者講習会開催のために検討が必要な項目をすべて協議し、理事会の承認を得た。
- ・ 各部員が協会主催の中央型臨床実習指導者講習会（9 月、11 月、1 月、3 月の計 4 回開催）に参加し、世話人としての資格を得た。
- ・ 臨床実習指導者講習会開催のために必要な書類を適宜作成し、一般社団法人日本言語聴覚士協会に提出した
- ・ Slack 内のチャンネルを積極的に活用し、部員内で情報共有や意見交換を随時行った。
- ・ 臨床実習指導者講習会当日のリアルタイムでのやりとりを可能にすべく、部員と養成校教員によるグループ LINE を新たに作成した。

12. 地域別支部組織

1 東部支部

- ・ 支部会を 1 回オンライン（Zoom）にて開催した。
認定言語聴覚士に聞く！
「高次脳機能障害・失語症の就労支援 急性期から生活期それぞれのステージでの支援ポイント」
開催日：令和 6 年 8 月 8 日（木）
講 師：石川尚子氏（リハビリテーション天草病院）
参加者：26 名
- ・ 北部支部と合同で埼玉県言語聴覚士会第 21 回学術集会の準備を行った。

2 西部支部

- ・ 支部会を 1 回オンライン（Zoom）にて開催した。
「自動車運転支援として、当院の取り組みと地域連携でできること」

開催日：令和 6 年 8 月 15 日（木）

講 師：田坂 陸氏（埼玉セントラル病院 作業療法士）

参加者：25 名

3 南部支部

- ・ 学術集会実行委員会として第 20 回埼玉県言語聴覚士会学術集会を開催した。

開催日：令和 6 年 6 月 9 日（日）

場 所：東大宮コミュニティセンター

4 北部支部

- ・ 支部会を 1 回オンライン（Zoom）にて開催した。

開催日：令和 6 年 12 月 7 日

内 容：座談会・施設紹介

話題提供：関東脳外科病院 丹羽晴氏

「嚥下訓練における冷凍綿棒とアイシング棒の使用条件の調査報告」

施設紹介：コミュニケーション型デイサービス笑を 佐俣英俊氏

参加者：9 名

第2号議案 令和6年度決算報告

収支計算書 令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 事業活動収入

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異
I 会費収入			
(1)正会員準会員会費	2,075,000	1,730,000	345,000
(2)賛助会員会費	60,000	50,000	10,000
(3)正会員準会員入会金	30,000	40,000	△ 10,000
(4)賛助会員入会金	0	0	0
II 事業収入			
(1)学会参加費	161,000	138,500	22,500
(2)研修会参加費	0	40,000	△ 40,000
III 補助金等収入			
活動支援補助費	50,000	60,000	△ 10,000
埼玉県委託金	1,571,659	1,571,659	0
失語症支援事業 テキスト代	0	20,000	△ 20,000
その他	0	0	0
IV 雑収入			
雑費	0	45,000	△ 45,000
利息	0	376	△ 376
当期収入合計(A)	3,947,659	3,695,535	252,124
前年度繰越金	4,514,370	4,514,370	0
収入合計(B)	8,462,029	8,209,905	252,124

2 事業活動支出

予算額 決算額 差異

I 事務局

総務	475,800	413,516	62,284
通信費	159,800	57,465	102,335
消耗品費	175,000	78,434	96,566
会議費	43,000	46,982	△ 3,982
印刷費	58,000	56,895	1,105
会場費	40,000	22,770	17,230
リース費	0	110,970	△ 110,970
市県民税	0	20,000	△ 20,000
雑費	0	20,000	△ 20,000
会計	695,000	1,099,719	△ 404,719
通信費	3,000	11,922	△ 8,922
消耗品費	452,000	486,824	△ 34,824
会議費	150,000	136,808	13,192
市県民税	20,000	0	20,000
報酬・交際費	70,000	58,150	11,850
雑費	0	36,015	△ 36,015
雑損失	0	370,000	△ 370,000
発送	110,000	99,813	10,187
通信費	110,000	99,813	10,187

Ⅱ 渉外部	8,000	0	8,000
消耗品費	3,000	0	3,000
印刷費	5,000	0	5,000
Ⅲ 広報・情報部			
ニュースレター	83,600	94,930	△ 11,330
通信費	0	330	△ 330
印刷費	83,600	94,600	△ 11,000
ホームページ	298,000	207,523	90,477
通信費	0	2,145	△ 2,145
ホームページ関連費	298,000	205,378	92,622
地域リハマップ	32,000	21,796	10,204
通信費	30,000	1,260	28,740
会議費	2,000	1,000	1,000
広告宣伝費	0	19,536	△ 19,536
Ⅳ 企画部			
令和5年度埼玉県失語症者向け 意思疎通支援者養成研修事業	1,571,659	1,571,659	0
通信費	25,000	70,077	△ 45,077
消耗品費	25,233	93,708	△ 68,475
会議費	282,750	109,588	173,162
印刷費	190,000	130,066	59,934
会場費等	150,000	99,200	50,800
講師謝礼等	898,676	1,024,590	△ 125,914
保険料	0	44,430	△ 44,430
意思疎通支援事業	85,000	41,790	43,210
通信費	5,000	1,815	3,185
消耗品費	5,000	19,488	△ 14,488
会議費	40,000	19,617	20,383
印刷費	5,000	0	5,000
会場費	10,000	0	10,000
講師謝礼等	20,000	0	20,000
保険料	0	870	△ 870
言語聴覚の日	15,000	6,100	8,900
通信費	0	600	△ 600
消耗品費	0	5,500	△ 5,500
会議費	7,000	0	7,000
印刷費	8,000	0	8,000
リハフェスタ	79,800	65,818	13,982
通信費	0	1,120	△ 1,120
消耗品費	26,800	5,874	20,926
会議費	53,000	57,094	△ 4,094
印刷費	0	1,730	△ 1,730
講師謝礼等	0	0	0
Ⅴ 学術研修部			
高次脳・運動系	39,500	4,376	35,124
通信費	1,500	1,376	124
消耗品費	0	0	0
会議費	5,000	3,000	2,000
講師謝礼等	33,000	0	33,000

聴覚系	67,000	71,896	△ 4,896
通信費	0	1,260	△ 1,260
消耗品費	5,000	0	5,000
会議費	0	8,585	△ 8,585
印刷費	2,000	0	2,000
会場費	30,000	28,640	1,360
講師謝礼等	30,000	33,411	△ 3,411

生涯学習	42,000	36,573	5,427
通信費	1,000	165	835
消耗品費	1,000	0	1,000
会議費	6,000	3,000	3,000
講師謝礼等	34,000	33,408	592

VI 地域リハ部

地域リハ研修会	26,400	0	26,400
会議費	9,000	0	9,000
会場費等	9,000	0	9,000
講師謝礼等	8,400	0	8,400
老健部会	7,000	4,500	2,500
消耗品費	1,000	0	1,000
会議費	3,000	4,500	△ 1,500
会場費等	3,000	0	3,000

VII 地域包括ケア推進部	90,000	59,928	30,072
通信費	0	600	△ 600
会議費	50,000	14,780	35,220
講師謝礼等	40,000	44,548	△ 4,548

VIII 小児部	72,040	22,854	49,186
通信費	840	520	320
会議費	11,000	16,634	△ 5,634
印刷費	200	0	200
会場費等	10,000	5,700	4,300
講師謝礼等	50,000		50,000

IX 災害対策部	40,800	34,168	6,632
通信費	0	600	△ 600
消耗品費	1,000		
会議費	36,800	28,000	8,800
講師謝礼等	3,000	5,568	△ 2,568

X 地域支部

東部	26,000	8,511	17,489
会議費	6,000	3,500	2,500
講師謝礼等	20,000	5,011	14,989

西部	31,600	6,011	25,589
消耗品費	5,300	0	5,300
会議費	5,300	1,000	4,300
講師謝礼等	21,000	5,011	15,989

南部	19,000	9,668	9,332
通信費	0	2,640	△ 2,640
会議費	3,000	7,028	△ 4,028
講師謝礼等	16,000	0	16,000
北部	13,000	2,000	11,000
通信費	5,000	0	5,000
消耗品費	1,000	0	1,000
会議費	3,000	2,000	1,000
講師謝礼等	4,000	0	4,000

XI 学術集会

R6年度学術集会(第20回)	145,000	106,723	38,277
消耗品費	5,000	0	5,000
会議費	25,000	71,452	△ 46,452
会場費	35,000	19,170	15,830
印刷費	0	1,625	△ 1,625
講師謝礼等	80,000	14,476	65,524
R7年度学術集会準備	35,000	35,100	△ 100
会議費	15,000	35,100	△ 20,100
会場費等	20,000	0	20,000
臨床指導者養成部	24,000	8,000	16,000
会議費	24,000	8,000	16,000

I 事業支出	予算額	決算額	差異
当期支出合計(C)	4,132,199	4,032,972	99,227

当期収支差額(A)－(C)	△ 184,540	-337,437	152,897
次期繰越収支差額(B)－(C)	4,329,830	4,176,933	152,897

正味財産増減計算書
令6年4月1日から令和7年3月31日まで

一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 形状増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金			
受取入会金	40,000	42,000	△ 2,000
受取会費			
受取正準会員会費	1,730,000	2,030,000	△ 300,000
受取賛助会員会費	50,000	60,000	△ 10,000
受取会費計	1,820,000	2,132,000	△ 312,000
事業収益			
研修会収益	40,000	9,500	30,500
学会収益	138,500	9,000	129,500
事業収益計	178,500	18,500	160,000
特別支援金			
(一) 日本言語聴覚士協会 活動支援補助金	50,000	50,000	0
川越市歯科医師会	10,000	0	10,000
委託金			
埼玉県	1,571,659	1,571,659	0
雑収益			
受取利息	376	9	367
テキスト代	20,000	20,000	0
その他事業活動費	45,000	75,460	△ 30,460
経常収益計	3,695,535	3,867,628	△ 172,093
(2) 経常費用			
事業費			
会員事業費	194,743	192,320	2,423
研修事業費	135,699	178,831	△ 43,132
広報活動費	343,027	377,772	△ 34,745
合同事業費	94,096	71,936	22,160
学会事業費	141,823	90,564	51,259
委託事業費	1,571,659	1,571,659	0
その他事業活動費	38,690	422,583	△ 383,893
事業費計	2,519,737	2,905,665	△ 385,928
管理費			
理事会関連費	1,065,085	887,791	177,294
交際費	58,150	30,000	28,150
雑損失	370,000	175,000	195,000
減価償却費	233,870	125,708	108,162
その他	20,000	20,000	0
管理費計	1,747,105	1,238,499	508,606
経常費用計	4,266,842	4,144,164	122,678
当期経常増減額	-571,307	-276,536	△ 294,771
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-571,307	-276,536	△ 294,771
一般正味財産期首残高	5,197,492	5,474,028	△ 276,536
一般正味財産期末残高	4,626,185	5,197,492	△ 571,307
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,626,185	5,197,492	△ 571,307

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会

(単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産		流動負債	
現金及び預金	5,051,132	前受金	0
未収入金	30,000	未払金	926,672
売掛金	79,000	仮受金	48,000
仮払金	0	預り金	8,527
流動資産合計	5,160,132	負債合計	983,199
固定資産	449,252	正味財産合計	4,626,185
資産合計	5,609,384	負債・純資産合計	5,609,384

令和7年 5月9日

一般社団法人 埼玉県言語聴覚士会
会 長 田 尻 恵美子 様

監事

重山 剛義



監事

木場 由紀子



監 査 報 告 書

各監事は、埼玉県言語聴覚士会の令和6年度（自令和6年4月1日～至令和7年3月31日）の事業及び会計の監査を行いましたので、その結果につきまして以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事会に出席し、理事から電磁的方法も用いてその業務の執行について報告を受け、必要に応じて説明を求め、議事録等の関係書類を閲覧し、業務の状況を調査いたしました。

会計監査については、決算報告書、財務諸表、経費明細書、収支計算書等関係書類を閲覧し、その処理が適切に行われているかを検討いたしました。

2 監査結果及び意見

- (1) 会の業務は、概ね適正に管理・運営されていると認めます。
- (2) 会計について、その執行は適正に行われていると認めます。今後も、一般社団法人としての適正な会計処理を継続するため、公認会計士等による専門的な助言を受けることを求めます。
- (3) 業務の役割分担が偏ることのないよう効率化を図ることを求めます。

以上

第3号議案 役員選任について

令和6年度役員の任期満了に伴い、当会の理事・監事の選挙公示を行い、立候補の受け付けを行ったところ、以下のとおりとなりました。

理事・監事いずれも定数内の立候補となりましたので、施行細則第9条1項により、無投票の選出となりました。また、定数の不足分を、定款及び施行細則に基づき、理事会にて2名推薦いたしました。

理事・監事の立候補と理事会推薦者の選任は、正会員の中から総会の議決権の過半数の承認をもって選任されることとなります。

<立候補者>

理 事	赤沼 賢吾	(坂戸中央病院)
同	新井 美由紀	(春日部市障がい者支援課ことばの教室 他)
同	荒木 桑実	(霞ヶ関南病院)
同	石川 尚子	(リハビリテーション天草病院)
同	大住 雅紀	(霞ヶ関南病院)
同	岡田 岳歩	(エント上福岡事業所)
同	大畑 秀央	(国立障害者リハビリテーションセンター病院)
同	唐澤 健太	(リハビリテーション天草病院)
同	木村 誠	(リハビリテーション天草病院)
同	後藤 多可志	(目白大学)
同	小冷 彩果	(戸田中央リハビリテーション病院)
同	清水 充子	(埼玉県総合リハビリテーションセンター・埼玉医大福祉会カルガモの家 他)
同	杉田 好子	(西部総合病院)
同	高木 亮	(圏央所沢病院)
同	田尻 恵美子	(春日部市障がい者支援課ことばの教室 他)
同	谷合 信一	(防衛医科大学校耳鼻咽喉科学講座)
同	内藤 佐季	(新座志木中央総合病院)
同	中辻 勝一	(埼玉医科大学総合医療センター)
同	早坂 ちひろ	(加須市保健センター 他)

監 事

同	紀 裕	(池袋病院)
同	重山 剛儀	(さいたま市立病院)

<理事会推薦>

理 事	石田 恵子	(栗橋ナーシングホーム翔裕園)
同	野口 大輔	(埼玉県総合リハビリテーションセンター)

第4号議案 定款の改訂について

定款改訂について、下記理由により改訂を提案します。

＜提案＞

- ・ これまで日本言語聴覚士協会との連携構築にむけ、協議や取り組みを行ってきました。より連携構築を推進し会員の一致を図るため、当会の定款を改訂したいと考えております。
- ・ 具体的には、「当会正会員は日本言語聴覚士協会に正会員として入会すること」を追加したいと思います。また、当会と協会の入会の順序を問わないことといたします。

改訂前	改訂後	改訂理由
(会員資格) 第7条この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」(以下、「一般社団・財団法人法」とする)上の社員とする。 (正会員) 言語聴覚士法(平成9年法律第132号)第3条の規定による言語聴覚士の免許を有し、埼玉県内に在住あるいは勤務し、この法人の目的に賛同する個人で、かつ理事会で認められた者 (準会員) この法人の目的に賛同する言語聴覚士の免許を有しない個人、または埼玉県外に勤務、居住する言語聴覚士で、かつ理事会で認められた者 (賛助会員) この法人の目的に賛同し、この法人の事業を賛助する、理事会で認められた個人・団体および企業	第7条この法人の会員は、次の3種とし、正会員をもって「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」(以下、「一般社団・財団法人法」とする)上の社員とする。 (正会員) 言語聴覚士法(平成9年法律第132号)第3条の規定による言語聴覚士の免許を有し、埼玉県内に在住あるいは勤務し、この法人の目的に賛同する個人で、かつ理事会で認められた者 <u>正会員は日本言語聴覚士協会に正会員として入会することとする。</u> <u>但し、当会と協会の入会の順序は問わない。</u> (準会員) この法人の目的に賛同する言語聴覚士の免許を有しない個人、または埼玉県外に勤務、居住する言語聴覚士で、かつ理事会で認められた者 (賛助会員) この法人の目的に賛同し、この法人の事業を賛助する、理事会で認められた個人・団体および企業	士会・協会連携体制構築を推進し、会員の一致を図るため、下線部分を追加した。

報告事項Ⅰ 令和7年度活動計画（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

1. 全体の活動

- ・ 令和7年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会・第21回学術集会を開催する。
- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会との連携構築をさらに推進する。
- ・ 埼玉県リハビリ三団体連絡会議や一般社団法人埼玉県リハビリテーション専門職協会などを通じて、公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会との連携を強化する。
- ・ その他、関連団体等との協力関係を強化する。
- ・ 当会会員の拡大を図り、会員相互の連携を強化する。
- ・ 言語聴覚士学校養成所指定規則改定に伴う臨床実習指導者講習会を開催する。
- ・ 埼玉県から委託されている失語症者向け意思疎通支援事業を実施する。
- ・ 当会の施行細則等の改訂・整備を進める。
- ・ 東京2025デフリンピックの支援活動を行う。

2. 事務局

- ・ 令和7年度一般社団法人埼玉県言語聴覚士会定時社員総会を開催する。
- ・ 会員情報を管理する。
- ・ 会費を管理する。
- ・ 入会金と年会費、活動費の管理を行う。
- ・ 会費集金や会員管理システムの管理を行う。
- ・ 予算・決算・監査報告を行う。
- ・ 理事会、埼玉県リハビリ三団体連絡会議を開催する。
- ・ 各種発送作業、情報提供、外部との交渉に関する事務作業を行う。
- ・ メーリングリストの運用を行う。
- ・ オンラインシステム zoom の運用を行う。
- ・ ニュースレターの発送を行う。
- ・ 関東圏言語聴覚士会と連携を図る。

3. 渉外部

- ・ 賛助会員への連絡、ニュース等への広告依頼を行う。
- ・ 関連企業に対し積極的に働きかけ賛助会員を募集する。

4. 広報・情報部

- ・ ニュースレターを刊行する。
- ・ ホームページの管理・運営を行う。
- ・ 一般市民や障害をお持ちの当事者やその家族等の問い合わせに対応する。
- ・ メーリングリストを運用する。
- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と共同で埼玉県リハビリテーションマップの管理・運営を図っていく。

5. 企画部

1 言語聴覚の日

- ・ ST の活動紹介の一環として、失語症者向け意思疎通支援事業についての動画を作成し、ホームページ、SNS等で発信する。

2 失語症者向け意思疎通支援事業

- ・ 埼玉県からの業務委託を受け、埼玉県失語症者向け意思疎通支援者養成及び派遣事業を実施する。

3 彩の国リハビリテーションフェスタ

- ・ 公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と共催で、一般市民を対象に彩の国リハビリテーションフェスタを開催する。現在の計画では、令和7年10月25日（土）春日部市ふれあいキューブにて開催予定。

6. 学術研修部

1 高次脳・運動系

- ・ 一般社団法人日本言語聴覚士協会生涯学習プログラム「症例検討会」をオンラインで2回実施す

- る。
- ・支部と合同で研修会を開催する。

2 聴覚系

- ・一般社団法人東京都言語聴覚士会との共催で研修会を2回開催する。
 - 1) 聴覚の基礎や臨床経験の少ないSTを対象とするもので、聴力検査や補聴器フィッティング等実習形式で実施する。
 - 2) 聴覚臨床に携わっているSTを対象にブラッシュアップ研修を実施する。

3 生涯学習基礎講座

- ・一般社団法人日本言語聴覚士協会生涯学習基礎講座を3講座開催する。

7. 地域リハ部

1 地域リハビリテーション等に関する研修会

- ・公益社団法人埼玉県理学療法士会・一般社団法人埼玉県作業療法士会と共催で、訪問リハビリテーション実務者研修会 Basic コース、Advance コースをそれぞれ1回、開催する。
- ・令和7年度 訪問リハビリテーション地域リーダー会議へSTを派遣する。

2 老健部

- ・「介護保険領域で働くSTの集い」を1回実施する。

8. 地域包括ケア推進部

- ・地域包括ケアシステムに関わる研修会（介護予防・地域ケア会議）に講師を派遣する。
- ・地域包括ケア推進部会を開催する。
- ・各地域の活動について部内で把握する取り組みを実施する

9. 小児部

- ・研修会を1回開催する。
- ・症例検討会を1回開催する。
- ・吃音座談会を定期的に開催する。
- ・小児部メーリングリストの運用を行う。
- ・母子保健事業に携わるSTの集いを年間2回開催する。
- ・母子保健事業に携わるSTの連携に関する調査を行う。
- ・児童発達支援事業に携わるSTの集いを開催する。
- ・県内特別支援学校に対して、問い合わせへの対応ならびにSTの活用状況調査を実施する。
- ・特別支援教育関連の情報交換会を年3回実施する。

10. 災害対策部

- ・埼玉県リハビリ三団体災害対策委員会の会議に参加する。
- ・埼玉県リハビリテーション三団体主催災害リハビリテーション研修会を開催する。
Basic コース2回はオンライン形式、Advance コース1回は集合型形式を予定。
- ・Advance コース修了者向けフォローアップとして災害リハ通信を2回(Vol.6とVol.7)発信する。
- ・埼玉県リハビリテーション三団体連絡会に参加する。
- ・埼玉県との「災害時のリハビリテーション支援活動に関する協定」に関連して以下の活動を行う。
 - ① 災害リハビリテーションマニュアルの作成
 - ② 埼玉県災害リハビリテーション運用協議会(仮称)に参加
 - ③ 埼玉版FEMA(図上訓練)の企画および運営に参加

11. 臨床実習指導者養成部

- ・臨床実習指導者講習会(計3回:令和7年9月、令和8年1月、令和8年3月)の開催と運営を行う。
- ・部会ミーティングを定期開催し、臨床実習指導者講習会の振り返りを行う。振り返りの内容を令和8年度の臨床実習指導者講習会に反映させる。
- ・Slack内のチャンネルやグループLINEを積極的に活用し、部員内で情報共有や意見交換を随時行う。

12. 地域別支部

1 東部支部

- ・支部会を2回開催する。
- ・北部支部と合同で、埼玉県言語聴覚士会第21回学術集会（令和7年6月1日、リハビリテーション天草病院）を開催する。

2 西部支部

- ・支部会を2回開催する。
- ・埼玉県言語聴覚士会第22回学術集会開催に向け準備をすすめる。

3 南部支部

- ・支部会を2回開催する。

4 北部支部

- ・支部会を2回開催する。
- ・東部支部と合同で、埼玉県言語聴覚士会第21回学術集会を開催する。

報告事項2 令和7年度予算

令和7年度(2025年度)予算 会計期間: 令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日 作成日: 2025/4/1

収入の部

科目	摘要	内訳	単価	件数	小計
前年度よりの繰越					4,176,933
会費等	総計				
	1,830,000				
	会費	正・準会員	5,000	348	1,740,000
	賛助会費		10,000	6	60,000
	入会金		1,000	30	30,000
参加費等	200,000				
	学会参加費				
		正・準会員	1,000	200	200,000
		非会員			0
	10,000				
	研修会参加費				
		正・準会員			0
		非会員一般	2,000	5	10,000
その他	活動支援補助費				60,000
	委託金				1,918,939
合計					8,195,872

支出の部

部門	通信費	消耗品費	会議費	印刷費	会場費等	講師謝礼等	広告宣伝費	リース料	市県民税等	報酬・交際	合計
2025年度第21回学術集会	8,100	3,000	64,326	240	0	22,274	0	0	0	0	97,940
総会	79,800	5,000	40,000	38,000	20,000	0	0	0	0	0	182,800
学術集会準備(2026年開催)	0	0	25,000	0	20,000	0	0	0	0	0	45,000
事務局 (総務)	80,000	50,000	3,000	20,000	20,000	0	0	120,000	20,000	0	313,000
歯と口の健康習慣事業	0	5,300	8,500	5,000	0	0	0	0	0	0	18,800
(会計)	3,000	452,000	150,000	5,000	0	0	0	0	0	70,000	680,000
(発送作業)	104,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	104,000
渉外部	0	2,000	0	3,000	0	0	0	0	0	0	5,000
広報・情報部 (ニュースレター)	0	0	0	83,600	0	0	298,000	0	0	0	381,600
(ホームページ)	1,980	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,980
(地域リハマップ作成)	30,000	0	1,000	0	0	0	0	0	0	0	31,000
企画部 (令和7年度埼玉県失語症者向け意思疎通支援者養成研修事業)	25,000	25,233	282,750	190,000	150,000	898,676	0	0	0	0	1,571,659
(令和7年度埼玉県失語症者向け意思疎通支援者派遣事業)	5,280	150,000				192,000	0	0	0	0	347,280
(失語症者向け意思疎通支援事業)	5,000	5,000	40,000	5,000	10,000	20,000	0	0	0	0	85,000
(言語聴覚の日)	0	10,000	2,000	0	0	0	0	0	0	0	12,000
(リハフェスタ)	0	15,000	42,000	20,000	0	0	0	0	0	0	77,000
学術研修部 (高次脳・運動系)	3,000	0	5,000	0	0	33,000	0	0	0	0	41,000
(聴覚系)	0	5,000	0	2,000	30,000	33,411	0	0	0	0	70,411
(生涯学習講座)	1,000	1,000	3,000	0	0	18,000	0	0	0	0	23,000
地域リハ部 (地域リハ研修会)	0	0	5,000	0	5,000	5,000	0	0	0	0	15,000
(老健部会)	0	1,000	3,000	0	0	0	0	0	0	0	4,000
地域包括ケア推進部	0	0	35,000	0	0	45,000	0	0	0	0	80,000
小児部	20,400	2,900	30,000	200	0	42,320	0	0	0	0	95,820
災害対策部	0	0	38,400	0	0	11,137	0	0	0	0	49,537
臨床実習指導者養成部	37,557	0	24,000	0	0	178,908	0	0	0	0	240,465
地域別支部 (東部支部)	0	0	9,000	0	0	22,273	0	0	0	0	31,273
(西部支部)	0	0	3,000	0	8,000	17,818	0	0	0	0	28,818
(南部支部)	0	0	3,000	0	0	17,818	0	0	0	0	20,818
(北部支部)	0	0	3,000	0	0	4,454	0	0	0	0	7,454
全体予備費											3,534,217
	404,117	732,433	819,976	372,040	263,000	1,562,089	298,000	120,000	20,000	70,000	8,195,872

収入の部 合計	8,195,872			
支出の部 合計	8,195,872	内訳) 各部門・支部の支出…	4,661,655	
		全体の予備費…	3,534,217	
差 額	0			